



三木高大 自治会新聞

令和 2 年 4 月号 (No.165)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 岡田 修
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 2020(令和2)年 4月16日

<http://koureisyaigaigaku.cccc.jp>

自治会会長就任挨拶

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆様は、これまで長きにわたり職場や家庭での人生経験を積まれた方ばかりです。新たな気持ちで人生の第2のステップとして高大を選ばれたと思います。多くの仲間とともに充実した楽しい思い出の詰まった4年間にしていただきたいと思います。新入生にとって、今年度最初の全校行事であるスポーツデーは、親睦を深め仲間づくりの絶好の機会です。みんなで参加し大いに楽しんでください。

さて、私は本年度会長に任じられ、その重責を痛感しているところです。学生の皆さんが楽しく高大生活を送ることができるよう、今年度の自治会スローガンとして「学びの内にも、深める絆」を掲げました。皆さんが楽しく高大生活を送ることを目指しています。教養講座と専門講座でより一層、実用的・専門的な知識が付きます。そして、絆を深めるため好みに合ったクラブに入り「クラブ活動」やボランティアをするつもりで「自治会活動」にも参加すれば、多くの学生・OBと友達の輪が広がります。

学生数、クラブ部員の人数が減っています。在校生、新入生の方々にも学校の活性化のため、自主的にクラブと自治会に入って活躍して頂きたいと思います。

最後になりましたが、昨年度からの懸案事項であるTF委員会、すなわち「学生自治会活動の簡素化、効率化、活性化」にも引き続き取り組み、より良い高大にする決意です。

自治会会長 岡田 修



新入生を迎えて

今年は桜の開花がとても早く、花たちが競い合う好季節となりました。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆様のご入学を事務局職員一同は、すべての在校生と共に心から歓迎いたします。在校生の皆様も学年が進まれまして、今年度もよろしく願います。

さて新入生の皆様、これから講座が始まります。クラブ活動は、もうお決めになられましたか。自治会活動も充実しており、とても忙しそうだなと思われたのではないのでしょうか。しかし、4年後には「高大は楽しかった」「やり甲斐や充実感があつた」「仲間に感謝」などの言葉がいただけると確信しております。事務局も心新たに充実した大学運営に努めてまいります。

NHK朝の連続テレビ小説「スカーレット」で、一人暮らしになった陶芸家川原喜美子が自分の行く末を考えていると、小池アンリ役の烏丸せつこさんが「作品が人生を豊かにしている、あんたはひとりじゃない」と励まします。「もう一個教えたらか、誰かのことを思うこと、寄り添うこと、背負ったりすることで自分の人生が豊かになる」と残して去っていきました。自分の生活、人生を豊かにするというのとは一番大事なことはないでしょうか。

三木市高齢者大学は、社会において豊かな経験を積んだ人達が同じ立場で楽しく学び、遊び、その交流を通しながらつねに高きものをめざしてお互いの人生を豊かにしていこうという人達の集まりです。

どうぞ、新しいたくさんの仲間と一緒に、元気で楽しく学んでいただきたいと思います。皆様の主体的で喜びに満ちた活動の日々であることを願っております。

三木市高齢者大学

学長 井上 京子



スポーツデーの案内

グラウンド・ゴルフ大会を開催します！

1年生の皆様、ご入学おめでとうございます。また、在校生の皆様は、気持ちも新たに新学期を迎えておられることと思います。3月に入り、新型コロナウイルス騒動により休校となり、卒業式や学校行事も大幅な変更を余儀なくされましたが、5月以降は解決されていると見込んで、皆様に案内します。

大学全校行事は、毎年全学生が参加する体育祭や文化祭、研修旅行など様々な行事を実施しています。その最初の行事が「スポーツデー」です。今年もグラウンド・ゴルフ大会を実施します。グラウンド・ゴルフはルールも簡単で、初めての方にもできるスポーツで大いに盛り上がります。大会前にはルールや実技の講習会も予定しています。この大会は、在校生はもちろん大学院生、学友会そして大学の職員も参加する、親睦交流大会として盛大に開催します。

皆様には一日も早く学校生活に馴染んでいただき、学友の顔を覚え、名前を覚え、友達をつくる絶好の機会になると思います。是非ともご参加ください。

私たち実行委員一同は、万全の準備をしてお待ちしています。

◇ 日 時 5月21日(木) 雨天の場合は翌日 5月22日(金)

◇ 場 所 三木グリーンパーク・グラウンド

スポーツデー実行委員長 3年1班 細見 明夫



専門講座

「人生訓に富んだ園芸学科！！」

園芸学科は森脇先生の盆栽と小田先生の野菜作りの二部構成で、月2回の講座は交互に行われています。

*森脇先生の盆栽

先生の講義の名文句を列挙しますと

○盆栽の冬の手入れは春を華やかにするため、夏の手入れは秋を華やかにするため。手入れをすれば、植物は答えて立派に成長。

○梅は枝を多くすれば多く咲く、但し、途中で落とせば次年度、又きれいに咲く。

○水は、細かい水を酸素と一緒に時間をかけて与えろ。

○土は、粉が少ないものを選び。粉の多い土は水も入らず、空気も入らん。

○場所、土、入れ物(鉢)で成長は異なる。最適環境を作るかが勝負。

先生の講義を聞いて思ったことがある。

仏教の説話に「雪山の寒苦鳥」があるが、暖かい時に巣を作るのをさぼっていて、冬になると、今度こそ暖かくなれば巣を作ろうと決意するが、また、暖かくなるとさぼる。これを一生繰り返すという話であるが、寒い冬と、暑い夏に準備、段取りをしておけば、春と秋に盆栽を楽しめるということだろう。

*小田先生の野菜づくり

苗、種、肥料の選び方、育て方、収穫の時期、保存方法等身近な野菜、果物について、質問すれば細かく丁寧に教えていただけます。特に、今年は、暖冬のためにその対処方法まで、本当に詳しくアドバイスしていただけました。

先生の講義から思ったことは、「桜梅桃李」という言葉を聞いたことがある。

桜をはじめ、梅、桃、李(スモモ)これら各々育て方が異なり、結果それぞれの個性を發揮しています。我々の野菜、果物もみな育て方が異なる。それぞれに合った世話をしないといいものが出来ない。勉強して、おいしい野菜を育てたい。



4年2班 吉田 孝博

“蛍雪の瑞穂の郷の高大生、学びの楽園出合いふれ合い”

昨年の入学式で学友との初対面に少しばかり躊躇したこと、以来あまりに月日の経つのが早くに感じられます。井上学長の修身の訓辞には未だ余韻さえ、そして初めて口にした校歌斉唱に戸惑いつつ蛍雪の心構えに自問自答したこともつい昨日の出来事です。月例学年集会で副会長、総務、会計のご人徳のお陰様で早々の絆の糸が繋がった感は否めません。

一方おひとりお一人の向学の志に触れて驚くばかりです。とりわけスポーツデーには初心者マークで臨み冷や汗を掻いたこと、あげくにドン尻の成績にもめげずに来年への闘志を奮い立たせたこと、研修旅行の車中では園児の遠足を思わせる談笑のひと時に幸いを覚えました。

親睦会が創設されるや垣根を越えた交流の輪が広がったように思います。中でも記憶に残る新年会は和みと笑いに終始、そして集大成ともいえる大学祭の創作パネルは阿吽の呼吸と各人のモチベーションが発揮され、まさしく「ワンチーム」の一年だったように思います。この調子で学園生活の思い出づくりに資するよう“元気 はつらつ”をモットーに謳歌致したいものです。

2年4班 田原 正己

ひろば

私はこの原稿が掲載される4月には新3年生になります。友人の勧めで高大にお世話になって早いものでもう2年が終了しそうです。(執筆時現在は2年生)思い起こせば入学時には何も分からず、行事が有る度に右往左往したことが思い出されます。

そんな私達も新3年生となりクラブ活動では部長、副部長を務めてる方が多くいてクラブ内を纏めておられます。高大での全ての行事を推進していく3年生と成り責任の大きさを感じていますが、この際私で出来ることをさせて頂きこの一年思い切り楽しんでやろうと思っています。一方で年々高大に入学する学生が減少しています、何故でしょうか？学生間やOBの皆さんとこの件について結構話題にはなりません、“ちょっと遠いからね”とか“カリキュラムの多様性がね”とか色々意見は聞きますが皆さん本当に心配されています。

私が居を構える地域では多くの高大卒業者がおられます。散歩の途中で“1年生だね、頑張ってるね”とか“OBでグラウンド・ゴルフをやるから一緒にやろう”と声を掛けられます。スーパーに買い物に行くと“ああこの人は高大生だ”(失礼ながら名前は覚えてないが顔はわかります)ということはままあります。高大にお世話になる前まで働いていた私はご近所のことは全く知らず、所謂“今浦島”状態でした。ご近所に多くの知り合いが出来ること、これも高大にお世話になってこそです。今更ですが人と人とが知り合って繋がるってことが嬉しいことで大切なことだと再認識しております。

3年4班 原田 典彦

臨時総会の結果報告

三木市高齢者大学学生自治会の臨時総会が2月13日に行われました。本臨時総会は、TF(学生自治会活動の簡素化、効率化及び活性化)委員会での審議内容の報告と総会で議決が必要な規約、要綱の改正のため行われました。

TF委員会は、学生数が少なくなる中、自治会活動が学生に与える負担を軽減し、学生本来の学びと絆をより深めることを目的として、アンケート集約結果をベースに令和元年6月より令和2年1月まで計12回のTF委員会の審議と定例役員会の承認を得て、令和2年度より実施することになりました。

内容は多岐にわたり、

- ①役員、実行委員の削減
- ②役員会・委員会・実行委員会開催回数の削減と運営の効率化
- ③大学行事の見直しを含めた内容の改善
- ④教養・専門講座の充実
- ⑤自治会新聞の発行回数、広報の見直し
- ⑥クラブ活動の活性化
- ⑦これらを反映させて年間行事予定
- ⑧自治会規約・クラブ活動要綱の見直し
- ⑨その他の項目



などです。

自治会臨時総会は13日午後1時から高田副会長の司会で始まり、松本会長の挨拶の後、私からTF委員会の審議結果をパワーポイントで説明を行いました。説明内容は、TF項目の背景及び対応策、事前に学年ごとに説明した内容のうち、重要な項目です。その後、TF項目のうち自治会総会で承認が必要である

- ①自治会規約改正
- ②クラブ活動に関する要綱の改正

についての議案が上程され、改正の背景と内容説明の後、質疑応答を経て全会一致で承認され、令和2年2月13日付けで改正されることが決まりました。

自治会規約は、役員数の削減とその役割分担の変更、実行委員の選考方法の改正を行い、クラブ活動要綱は、名称を「クラブ及び同好会活動に関する要綱」に変更し、クラブ、同好会結成条件の変更と新規記述を行い、学生数の減少下でもクラブ活動の継続と活性化を図る内容です。

臨時総会は、午後1時の開始後、約50分で終了し、その後各研修室に戻り学年集會が行われました。TF委員会の審議内容及び総会議決内容が、今後の高大学生生活の活性化につながれば幸いです。

TF委員会委員長 4年4班 西垣 正秀